



三条北ロータリークラブ週報

2014-2015年度

国際ロータリー会長：ゲイリー C. K. ホアン「ロータリーに輝きを」
第2560地区ガバナー：佐々木昌敏「ロータリーは、あなた自身から」
- You are Key -

三条北ロータリークラブテーマ「ロータリーライフを楽しみましょう」

会長：岡田 健
幹事：外山 裕一
SAA：金子太一郎

例会日：火曜日12:30～13:30
例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111
事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内
TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488
AD:north@sanjo-nrc.org

HP: <http://www.sanjo-nrc.org>

例会日 2014. 9. 9

累計No.1330 当年No.10



本日の行事：卓話

「三条金物卸商協同組合の

歴史と現状」

- ◆本日の出席：68名中40名
- ◆先々週の出席率：68名中52名 76.47%
(前年同期 81.69%)

- ◆本日のゲスト：三条金物卸商協同組合
前理事長 金子太一郎様

- ◆先週のメイクアップ（敬称略）
9月4日三条東RC

石川友意、中條耕二
渡辺 徹、石川勝行
山崎 勲、米山忠俊
9日分水RC 樋口 勤

ロータリーの友9月号紹介

横組み

1頁RI指定記事 RI会長メッセージ
「ロータリーの将来を担う新世代」
8頁「新世代の未来のために」

縦組み

14頁「家族例会がきっかけで
カップル誕生」

会長挨拶：岡田 健会長



皆さんこんにちは
9/7日曜日に義兄の1周忌で横浜へ行って来ました。そのついでに終活の一環として行ったことの無い靖国神社へ参拝してまいりました。

神社の境内に遊就館という遺品や収蔵品を展示してある資料館がありました。館に入って正面に旧陸軍の15センチカノン砲がでんと据えられていました。砲身は戦闘の激しさを物語る様に傷だらけでした。その隣にこれもまた沖縄戦で最後まで撃って全弾を撃ち尽くして使命を終わった15センチ重砲が並んでおりました。砲身は15センチカノンより約1メートル短い様でした。この2門の砲は旧陸軍の保有した最大火力です。その手前には海軍の零式戦闘機、一般に言われる零戦です。そこまでが無料で見られる所です。その他の展示品は2Fでエスカレーターに乗らねば行けません。入場料800円を払ってエスカレーターに乗り2Fへ。第一映写室と表示してある室に入りました。そこで目にしたのはノモハン事変から満州事変、支那事変から太平洋戦争～極東裁判までの記録でした。画面毎に説明がありました。日本は正義の戦争を行なったのであり、極東裁判は大いなる誤りであるという事が最初から最後まで強調されていました。かく言う私は父が、又義兄の父が職業軍人です。私の父は終戦少尉です。義兄の父は憲兵大佐でした。姉は退役自衛官、義兄も同じく退役自衛官でした。その中で育った私ですが、靖国の主張は無理があります。日本軍はそんなに立派ではありません。戦争そのものが立派な行為ではないのです。

あの靖国の主張は韓国のパク大統領の言っている事と同列です。平和を望み対話すると言うレベルではありません。多いに反省すべき事と思います。これで終わります。ありがとうございました。

幹事報告：外山裕一幹事



- ・三条市青少年育成市民会議より 第10回私のメッセージ三条市大会後援の依頼
- ・いがた緑の百年物語緑化推進委員会より 秋の「緑の募金」ご寄付のお願い
- ・地区米山奨学委員長より 米山奨学委員長セミナー開催のご案内
日時 2014年10月4日(土) 12:00～
会場 JA越後おぢやグリーンパーク (吉田委員長出席)
- ・菊池ガバナー補佐より IMについてお願い
終了時間 18:45 となっておりましたが、19:45 に変更になりますご協力
宜しくお願い致します。(参加者には詳細案内配布)
- ・三条ローターアクトクラブより 9月第二例会のご案内
日時 9月18日(木) 19:30～ 会場 燕三条リサーチコア 4F
- ・佐々木ガバナーより 広島豪雨災害への支援のお願い
- ・山本ガバナーエレクトより ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ
新潟市中央区川端町 6-53



- ・RI日本事務局より PHF 認証の伝達
6回 星野義男
3回 高橋彰雄、山口龍二、笹原壯玄
山中 正、佐藤義英、今井克義
佐藤文夫、山崎 勲
2回 小林繁男、青木省一、木宮 隆
石川友意、坂内康男、外山裕一
石川勝行、岡田 健、柄沢憲司
大橋政雄、小林幹扶

雑誌委員会 ロータリーの友9月号紹介

ロータリーの友は縦書きと横書きになっています。普通は表と裏があるわけですが、どちらも表と
なっています。インパクトのある雑誌を作ろうということでこういう形になったそうです。

横書きの1頁はRI指定記事と右上にあります。RI会長のメッセージが毎月載っています。

今月は五大奉仕の一つ「新世代の為の月間」となっていますがRI会長の考えが述べられて
います。

8頁からは「新世代の未来のために」各RCの活動が特集されています。

縦書き14頁「家族例会がきっかけでカップル誕生」RC会員子息と米山奨学生で家族例会がきっ
かけだそうです。

私達は1冊210円でこの「友」を購入しているわけです。そう思って熟読すると、210円の価
値は十分にあると思いますので是非読んで下さい。

*****ロータリー財団ボックス9日現在累計152,000円*****

羽賀 一真君 佐藤弘志会員、みんな心配されていましたが。快復されてなによりです。

石川 友意君 馬場さんと同じテーブルでしたので!!金子さん卓話ご苦労さまです。

米山 忠俊君 財団BOX馬場さんご苦労様です。

*****米山奨学ボックス9日現在累計211,000円*****

大野 新吉君 4番手テーブル、本日で3回続いて居ります!!運が良いのか悪いのか?判りません
が前年度の米山委員会の尾を引いているようです。委員長、副委員欠席で森先生ご
苦労様です。金子太一郎さん卓話宜しくお願いします。

田口実仁佳君 協力します！！
 今井 克義君 BOXに
 樋口 金占君 金子さん本日はご苦労さまです。
 山崎 勲君 ノーコメント
 森 宏君 本日も委員長代理です。ご協力ありがとうございます。

*******ニコニコボックス9日現在累計318,000円*******

山崎 勲君 倅の葬儀の際は会長、幹事、会員の皆様より多数ご参列いただきまして大変有難う御座いました。皆様方のご好意のお返しが業者の手違いで小額の物になってしまいましたので、お返しの意味も含めてニコニコボックスに入れさせていただきます。

岡田 健君 ガバナー事務所より新規会員の登録が少ないとの督促が来ました。各会員1人の推薦をお願い致します。

米山 忠俊君 錦織選手、テニス全米オープン準優勝の健闘を讃えて。

田口実仁佳君 秋なのにお化粧してもり悪い・・・。エステ行くのでご協力します。

田中耕太郎君 今日の月は満月に近くきれいに見えるようです。

金子太一郎君 先週の会議所会頭杯ゴルフコンペでドラコン賞を取ることが出来ました。これからも昼も、夜もどんどん飛ばして行きます。本日の卓話、皆様宜しくお祈りします。

笹原 壯玄君 昨夜は中秋の名月でした。本成寺では名月に向かってお経が上がります。大変きれいなお月様でした。月が清らかなのは月には持ち主がない！からだそうです。

斎藤 正君 金子さんの卓話楽しみにしています。御苦労さまです。

淵岡 茂君 金子さん本日は卓話を受けて頂き有難うございました。金物組合の歴史の1ページを作られた金子さんの話が楽しみです。

佐藤 弘志君 金子さんの卓話に期待して！

石川 一昭君 金子SAA卓話楽しみです。

中條 耕二君 金子太一郎さんの卓話楽しみにしておりました。

落合 益夫君 ニコニコボックスに協力。

樋口 金占君 //

本田 芳久君 //

大橋 政雄君 //

*** 8月コメント賞は土田百合子会員です。**



本日の行事：卓話「三条金物卸商協同組合の歴史と現状」

三条金物卸商協同組合 前理事長 金子太一郎様



この度、三条金物卸商協同組合の話をしてほしいということで、淵岡委員長から卓話の依頼がありまして、今回この機会をいただきました。昨年にも一度、淵岡委員長から依頼がありまして、倫理法人会で話をさせていただきましたが、その時は、当社の取組も合わせて話しさせていただきましたが、今回は金物組合のことだけに絞らせていただきます。

まず、金物組合の歴史をについてですが、昭和34年に181社で「三条金物卸商組合」を発足いたしました。そして昭和63年には、法

人格を持つために「三条金物卸商協同組合」になりました。このように歴史を顧みますと、大きく2つの歴史があります。今回お話をさせていただくのは、昭和63年に発足した、協同組合になってからのことをお話しさせていただきます。現在、北ロータリーのメンバーで、金物組合の会員は、アサノヤ産業さん、アークランドサカモトさん、喜久和さん、ホクリク総業さん、ハーモニックさん、外山産業さん、フチオカさん、そして当社の8社で、以前は高森コーキさんも北ロータリーでしたが退会されております。北ロータリークラブ内でも1割以上が金物組合のメンバーで占められております。

昭和63年10月1日に、更なる発展を期す

必要性から組合員352社で三条金物卸商協同組合が設立されました。これは今まで、任意団体だったものが協同組合になり、法人化されました。法人化することにより、共同支払事業を始める事ができました。それは、高速道路の共同支払、JR乗車券等購入料金共同支払事業、そして切手印紙委託販売事業、カーリース紹介斡旋事業、段ボール箱共同購入事業と広めてきました。この事業で潤沢な資金が集まり、活発に活動することができました。おかげさまで平

成21年5月に組合創立50周年と協同組合設立20周年を挙げていたしました。また、半世紀を振り返ろうと昭和55年に創刊された「金物と草鞋と」、そして、平成20年に「金物と草鞋と一統編一」が発刊されました。そこには金物卸業者の活躍と組合活動における先輩諸氏の汗と努力と情熱の跡が伝わってきます。この「金物と草鞋と一統編一」に昭和63年に協同組合を設立するまでの過程が記載されておりましたので引用させていただきます。

第10期組合長 三条金物卸商協同組合設立準備委員長 高橋一夫様

今日までの協同組合設立の経緯を簡単にご説明申し上げます。9代目佐藤組合長の時代に、時の運輸委員会委員長であった金川さんから「最近組合員の中でも、高速道路利用が大変多くなっているようなので、道路公団と話をし、組合として割引の対象としてもらおうじゃないか。」と提案されて、利用調査をしたのですが、いかんせん任意組合では相手にしてもらえず、挫折してしまいました。昭和61年の私の組合長の時代、時の広報委員長の外山さんが、「三木市ではわれわれの同業者が大変多くの協同組合を作って活躍しているが、三条には団地造成を目的とした「金物卸センター」しか協同組合が無い。これから我々が国の助成金を受けるにしても、協同組合とすべきではないか。」ということで、三条金物ニュースの昭和61年4月号より、62年1月号まで10回シリーズで三木市にある協同組合や県作業工具協同組合の取材をして、『協同組合化を考える』という一大キャンペーンを張ってくれました。たまたま昭和61年11月、県中央会より三条の私どもと商鉄組合、東三条商店街に対して、協同組合の勉強会をしませんか、との誘いがありました。私どもは早速その誘いに乗り、昭和62年度の県の指定を受けることができました。昭和62年の経営委員会（坂本洋司氏）の大きな事業として取り上げ、7月1日、9月1日、10月1日と勉強会を行い、10月12日は役員会を兼ねた勉強会とし、終了後の役員会では、全員一致で協同組合化に踏み切ることに決定しました。しかし、事が事だけに組合員の一人でも多くの理解を得るために、班単位で執行部が出席して説明会を行いました。その後、12月2日の臨時総会で、今までの任意組合を解散して、協同組合にすることに全員一致で決定しました。

昭和63年2月14日には、「具体的な設立手続きについて」という最後の勉強会を実施しました。3月1日までに、執行部が手分けをして、組合員一軒一軒を回り、同意書と1万円の出資金をいただきました。こうして358社中、352社の同意を得ることができました。9月1日、協同設立総会を開き、いよいよ法人化のスタートを切りました。馬場組合長を協同組合の初代理事長に選任しました。設立総会の出席者180名は、組合30年の歴史の中でも例をみない出席率で、組合員の期待を執行部一同、ひしひしと痛感しました。

9月下旬に県より正式に許可があり、10月1日から「三条金物卸商協同組合」がスタートしました。

「金物と草鞋と」続編より

平成20年発行 その当時の苦労がひしひしと感じられます。

その他歴代理事長は

第一期	馬場茂夫理事長	(昭和63年10月1日～平成3年3月31日)
第二期	高森 博理事長	(平成3年4月1日～平成6年3月31日)
第三期	長沼重三理事長	(平成6年4月1日～平成9年3月31日)
第四期	細井増雄理事長	(平成9年4月1日～平成12年3月31日)
第五期	細井増雄理事長	(平成12年4月1日～平成13年3月31日) 単年度
第六期	菑澤喜一郎理事長	(平成13年4月1日～平成16年3月31日)
第七期	加藤敏敦理事長	(平成16年4月1日～平成19年3月31日)
第八期	宮原洋一理事長	(平成19年4月1日～平成22年3月31日)
第九期	高森武志理事長	(平成22年4月1日～平成24年3月31日)

任期2年変更

第十期 金子太一郎理事長 (平成24年4月1日～平成26年3月31日)
第十一期 長岡信治理事長 (平成26年4月1日～)

理事長の充て職

第10期理事長として

- 1、燕三条地場産センター理事 (年2回)
- 2、三条商工会議所常議員,金物卸部会長
- 3、新潟県中小企業団体中央会理事 (年3,4回)
- 4、三条夏祭り大花火大会部会部長 (年3,4回)
- 5、燕三条カレー産業博実行委員 (平成24年度)
- 6、伝統工芸士産地委員会 (年1,2回)
- 7、三条工業会、三条木工組合来賓 「乾杯音頭」
- 8、全国利器工具卸商組合連合常任理事 (2年に1回)

主な活動

- ・見本市 三条金物大見本市、新潟県三条金物見本市、金物産地問屋総合見本市、インターナショナルハウスウエアショー、にいがた県央産業フェア
- ・厚生活動 野球大会、ゴルフ大会、麻雀大会、ボウリング大会、海の家、スキーツアー、海の家、合同慰安旅行
- ・ゼミナール 各種ゼミナール

当時は三条の伝統ある鍛冶技術によって製造された利器工匠具を全国に販売。また、金物関連では「三条に頼めば無い商品はない」と言われるほどまでに多種多様な商品を取りそろえて活動していました。

転機

▲高速道路の共同支払事業で潤っていた資金が、制度変更で減少。

平成17年の高速道路協同支払事業の制度改革で大口多頻度割引制度が導入された結果、16年間安定的に確保された財源が、大幅に削減されました。これを機に組合の事業運営が一層厳しくなってくると同時に組合員への実質的な経済メリットも希薄となり、組合員の減少や連帯感、参画意識にも少なからず影響が出てくるなど、大きな変革の年になりました。

▲流通ルートの多様化や製造の海外シフトで厳しい環境になってきた。

海外からの低価格品が流入し地場商品も低価格化に拍車がかかり、業界の収益改善が図られないまま市場が寡占化、縮小し、中小零細企業はますます厳しい市場環境となっています。

▲従来の金物店からホームセンターなどの量販店、インターネット販売などの多様化で流通形態の変化。(街中の金物店の衰退)

流通業界も大きく変化し、大手量販店の出店により、町の金物屋さんが減少し、お得意さまが減少。売り先が無くなる。

▲量販店による、問屋中抜き。(大量仕入れ、大量販売)

量販店が自社の流通センターを建設し、メーカーに直接大量仕入れを図り問屋中抜きが増加。

▲廃業倒産による組合員の減少。(平成26年8月現在189社)

後継者不足、販売不振等

今後、組合のあり方、やり方を大胆かつ迅速に再構築しなければならない。

そこで組合員にアンケート調査実施。その結果、次期経営者、幹部の資質向上が重要。

金物卸業界に重要なのは、優秀な人材作りということで、**若手経営者資質向上講座**を開設しました。

丁度、三条市からも補助金をいただくことができましたので、いろいろ検討した結果、中小企業大学校と三条市の協力を得て組合員企業を対象にセミナーを開設しました。

このように、組合活動も時代とともに変化しましたが、変わりゆく流通業界において役に立てる組合を目指し日々活動しております。

最後に組合歌を皆さんと一緒に歌って終わりにします。

三條金物卸商 協同組合の歌

作詞 成田 浩
作曲 小林敬一

一、
ゆたかに稲^{みの}る越しの野に
鉦音高くあゆみ来し

産業都市の旗手として
雄々しく集う四千の
精気みなぎるおわれら
三條金物卸商

二、
若鮎おどる五十嵐の
清き流れに培^{つちか}いて

見よ商魂もたくましく
南に北にはばたかん
世界に伸びるおわれら
三條金物卸商

三、
白銀映ゆる弥^{やひ}彦嶺^ねを
仰^{うや}ぎてさらに幾^{いく}星^{せい}霜^{そう}

生活を^{くらし}創^{つく}る情熱と
未来を拓く使命あり
永遠に栄えるおわれら
三條金物卸商

